

平成三十年十二月十五日 於高崎市市民活動センターソシアス

高崎市生涯学習フェスティバル

ラジオ高崎 高崎歴史散歩道

「石碑が伝える郷土の歴史〜伊香保の額論と幕末の高崎」

和田健一（多胡碑記念館）

要旨 ①秀吉の刀狩りは、村々の全ての刀と鉄砲を没収しなかった。

②江戸時代の剣術は、武士のほか百姓・町人が学んでいた。

③現在も残る郷土の剣術関連の石碑を大切にしよう。

一 戦国の甲冑剣術と江戸の剣術

①愛洲移香齋：上泉伊勢守**新陰流**——丸目藏人・神後伊豆守・**柳生石舟斎**

②飯塚家直**天真正伝香取神道流**——塚原卜伝高幹**新当流**ほか

③宮本武蔵玄信**円明流・二天一流**——武蔵流・真面流・二天一流・円明流柔術

④林崎甚助重信**神夢想林崎流（抜刀術）**——神明夢想東流・一宮流ほか

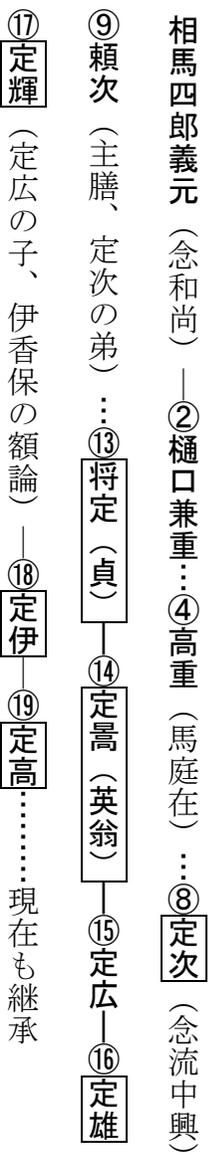
⑤念阿弥慈恩（相馬四郎義元）**念流**——中条長秀**中条流**——鐘巻自斎・伊藤一刀齋

実践剣術（介者剣術） ↑↓心身の修養 佐々木小次郎**厳流**

※戦場では大砲・鉄砲・弓が主力

二 馬庭念流と樋口氏

一、馬庭念流樋口氏系図（丸数字は念流継承代数、『吉井町誌』より作成）



二、武士か百姓か（戦国末〜江戸初期）多胡郡馬庭村

（一）定次（又七郎）

（二）頼次

※いずれも後年に建立



三、隆盛の時代（江戸中期）

(一) 将定（貞） 弟重二郎江戸赤坂道場

(二) 定嵩（英翁） 江戸京橋道場



宝暦元年(1751)没、享年 86



寛政 8 年(1796)没、享年 94

(三) 定広（弾治）

(四) 定雄（摩利支天社建立）江戸小石川道場



安永 8 年(1779)没、享年 54



天保 7 年(1836)没、享年 72

四、江戸後期から幕末へ

(一) 定輝（伊香保の額論）

(五) 定伊（江戸神田道場、徳川斉明前で演武）



文政 6 年(1823)没、享年 50



慶応 3 年(1867)没、享年 61
撰文は住谷勝造（東国分村）

五、門人の構成

(一) 江戸初期（沼田藩真田家家臣）

(二) 江戸中期（旗本領主長崎氏、新田岩松氏、小幡藩織田氏、
七日市藩前田氏）、英翁が松平定信の前で演武

(三) 百姓が中心 護身用・身分制度からの脱却

(例) 五十嵐勘衛義藩（東中里村） 鍊武館門弟百人

木部三十郎（山名村）、国定忠治？

目 小野派一刀流

一、伊藤一刀齋景久 **一刀流** — 小野次郎右衛門忠明 (徳川秀忠兵法指南役)

— 小野忠也 (伊藤典膳) **伊藤派一刀流**

— 小野次郎右衛門忠常 **小野派一刀流**

二、小野派一刀流中西派

(一) 寺田五右衛門宗有 寺田宗有供養塔 (新後閑町稻荷神社／琴平神社)



文政 8 年(1825)没、享年 82
高崎藩士、高崎藩劍術師範

(二) 佐鳥浦八郎 (後述)

(三) 中澤 (間庭) 源蔵清忠 (足門村)

金古諏訪神社頌徳碑



明治 12 年(1875)没、享年 82
松代藩士、同藩劍術指南。門人 2 千人



・門人 (交流)

神保臥雲 (文人、金古村代官)、神保雪居 (同上)、安中文瑛 (保渡田村医師)

塚越篤太郎 (保渡田村寺子屋師匠)、中曾根慎吾 (下里見村関流算学者)

小島文次郎 (五万石騒動大惣代、『文次郎小伝』より)

櫻井義住 (天神真陽流柔術)、山本屏之助 (八神山本流柔術)

(各地域) 広馬場・中里・漆原・長岡・渋川・金古・生原・中里・

八木原・棟高・青梨子・三ツ寺・総社町・新井・石倉・福島・野良犬・

江田・上野田・上新保・下大類・中大類・矢中・島名・下中居・

佐渡・松代

(四) 間庭源左衛門忠次

清隆館主

(五) 間庭源藏忠義

講武所上毛教授員



明治 32 年(1899)没、享年 77



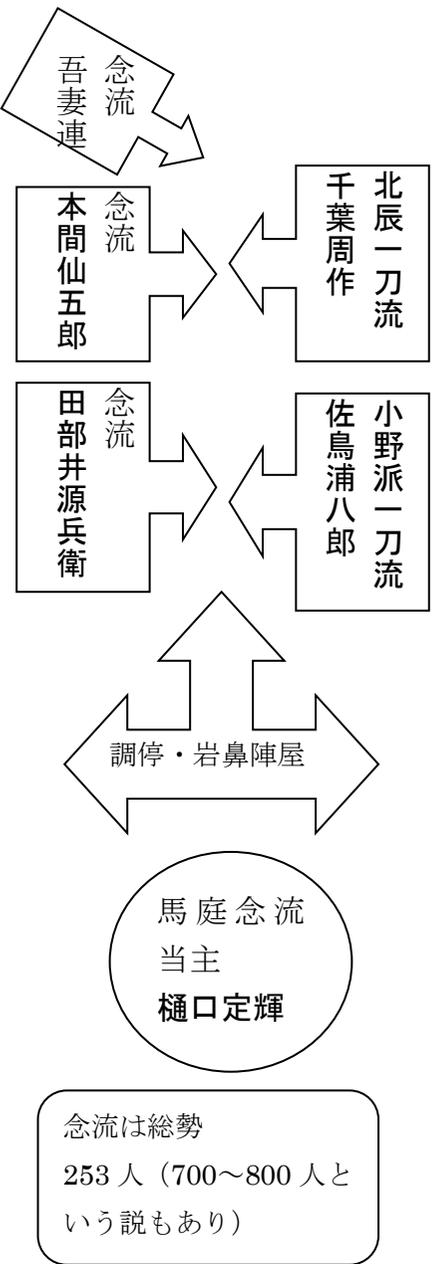
大正 14 年(1925)没、享年 64

伊香保の額論

一、発端 文政六年(一八一三)千葉周作(北辰一刀流)に門人(引間村佐鳥浦八郎【小野派一刀流】)が助力し、伊香保神社薬師堂に奉額しようとしたため、馬庭念流一門がこれに反発、阻止しようとしたことから起こった騒動

二、経過 本間仙(太)五郎(赤堀村、念流)らが阻止活動 田部井源兵衛(世良田村、念流)らが阻止活動 対立を止めるため、馬庭村より当主樋口定輝が急行

三、結果 岩鼻陣屋代官の仲介で両派が撤退



○滝沢馬琴『兎園小説』に収録↓司馬遼太郎『北斗の人』

後日談◎佐鳥浦八郎(高崎藩剣術指南役に抜擢、弘化二年没、享年五四)

まとめ 剣術から見る江戸時代の庶民

- (一) 江戸時代の剣術：心身修養・護身・百姓から武士階級へ身上がり
- (二) 剣術と柔術の交流、剣術と学問・文芸
- (三) 村に存在する刀、鉄砲↓猟師・農兵銃隊(豪農の子息)・博徒